

市の組織機構見直しへ 平成27年4月から

改正の主なものは2点 市長公室を廃止し企画振興部を新設 黒木総合支所の総合機能を見直し

12月定例会は12月3日から19日までの17日間の会期で開催されました。市長より提案された議案は、指定管理者の指定、3億9085万円を追加する一般会計補正予算、平成27年4月から市の組織機構を見直す条例改正案など議案57件が提案されました。

また、最終日に議員提出でウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書案1件が追加提案されました。

いずれも原案どおり可決しました。

問 各支所のまちづくり推進係がなくなるが、今後どのようにまちづくりを推進していくのか。

答 現在、各支所の総務課は、総務管理係とまちづくり推進係の2つの係で構成している。これを統合して「総務係」にする。

その理由として、現在でも当然2つの係が協力し事務を進めているが、一つの係になることで、まちづくり事業を含めより効率的にまた弾力的に対応できると考えている。

問 職員数は減るのか。

答 黒木総合支所の市民・税務係が「市民係」になる。今まで黒木総合支所で行っていた、市民税の賦課業務を本庁で一括して行うこととなるので、このように明らかに事務事業が減るケースは減員ということもある。基本は現行どおり。

反対討論(要旨)

○八女市の20年、30年先を考えると、八女市の大部分を占める中山間地を振興・発展させるため、過疎化を食い止めるためにも、各支所の機能を高め、それを取りまとめる総合支所機能を発揮させる体制づくりが必要である。

○まちづくり推進係の名称がなくなるだけで、機能や人的配置がなくなるわけではないが、名称がなくなることは施策として一歩後退する。住民も意識が薄れ、施策としての根拠が薄れていくと思う。

賛成討論(要旨)

○支所の事務で、総合支所を経由しなければならぬケースもあり、かえって事務処理に時間がかかっているのであれば、直接本庁と所管支所で連絡調整を行い処理するのが望ましい。総合機能が発揮されていない以上、通常の支所にすべきと考える。また、支所になったからといって、所管課の数に変更はなく、人員も地域の实情に配慮した配置がされるのであれば、住民サービスが低下するとは考えにくい。

○合併後5年を経て、地域性にこだわらず、八女市全体としてとらえていかなければならない。

○災害の問題についても、やはり指揮命令系統は一本でない迅速な対応はできないとつくづく感じている。

○総合支所の名称こそなくなるが、支所機能を充実して、住民サービスの低下を招かない施策がとられていくものと考えている。

委員会審査

総務文教

審査の主なもの

- 八女市行政組織条例及び八女市支所設置条例の一部を改正する条例の制定について (賛成多数で可決)
- 平成26年度一般会計補正予算 (全員賛成で可決)
 - ・企画費 2948万円
 - ・安全安心対策費 210万円

厚生

審査の主なもの

- 八女市地域包括支援センターの運営及び職員の基準に関する条例の制定について (全員賛成で可決)
- 平成26年度一般会計補正予算 (賛成多数で可決)
 - ・児童措置費 5100万円
 - ・予防接種費 2543万円
 - ・塵芥(じんがい)処理費 400万円
- ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する意見書の提出を求める請願 (全員賛成で採択)

黒木総合支所を黒木支所へ

問 住民への周知が先ではないのか。

答 市の方針を決めてから、議会の議決後に周知徹底を図る考えである。

問 黒木総合支所に権限と財源があったのか。

答 黒木総合支所に与えられた権限は東部支所との調整及び統括機能であり、自由に使える財源はない。

問 平成24年の災害の際、一本しか命令系統がなかったため指示が仰げない状況であったが。

答 指揮命令系統は一本でなければ、末端で混乱が生じてくる。

問 過疎対策や東部の活性化の課題に対し、総合支所機能をもう一度考え直す時期ではないのか。

答 そのような課題があるからこそ企画振興部を新設し、市民全体の課題として対応していきたい。

反対討論として住民への周知がされておらず、住民の意思が尊重されていない等の意見があったが、採決の結果、賛成多数で原案を認めることに決した。

乳幼児の水痘(みずぼうそう)及び高齢者の肺炎球菌予防接種

問 学童保育事業運営業務委託料の増額理由及び委託先の統一化の考えは。

答 7か所の学童保育所で見込数より児童が増加した。

問 の考えを優先している。

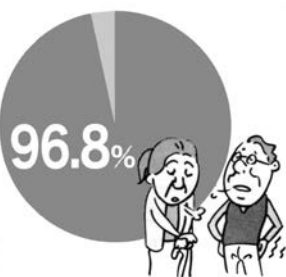
答 保育所運営費の増は、各年齢層に応じた保育所運営費を支出しているが、低年齢層が高く、年度途中に3歳未満児の入所が増えたため。

現在の委託先は、旧八女市8(寿福祉会)、上陽町1(社会福祉協議会)、黒木町3、立花町2、星野村1(保護者連合会)、黒木町1(あゆみ保育園)であり、保護者

問 個別予防接種の内容は。

答 法改正により平成26年10月1日から、乳幼児の水痘と高齢者の肺炎球菌の予防接種が始まる。

た。水痘は、0歳～3歳が基準であるが、今年度に限り5歳まで認められている。肺炎球菌の対象者は、65歳から5歳刻みが基準であるが、今年度に限り100歳以上も認められている。肺炎球菌予防接種の個人負担金は3500円であるが、非課税及び生活保護世帯は証明書を持参すれば、全額免除である。



肺炎による死亡者の約95%は65歳以上¹⁾

1) 厚生労働省。人口動態統計(確定数) 2012年

出典MSD



議会の動き

11月

- 4日 議会報告会(～27日)
- 5日 定例全員協議会
- 7日 公立八女総合病院企業団議会
決算審査特別委員会
- 10日 筑後六市議会議長研修(長崎市)
- 19日 総務文教常任委員会
- 20日 町村議会議長会広報研修会
- 26日 厚生常任委員会
- 27日 八女中部衛生施設事務組合議会
- 28日 議会運営委員会

12月

- 3日 平成26年第6回定例会(招集日)
全員協議会
- 11日 予算審査特別委員会全体会
議会だより編集委員会
- 17日 下水道調査特別委員会
予算審査特別委員会全体会
- 19日 平成26年第6回定例会(最終日)
- 24日 八女地区消防組合議会(臨時会)
公立八女総合病院企業団議会
八女西部広域事務組合議会
- 28日 八女市、立花消防団年末夜警巡視
(総務文教常任委員会)

1月

- 5日 全員協議会・議会運営委員会
- 7日 議会だより編集委員会
- 14日 議会だより編集委員会
- 21日 総務文教常任委員会
県道玉名八女線改良促進要望活動
- 29日 議会運営委員会
筑後六市議会議員研修会(柳川市)

建設経済

審査の主なもの

○平成26年度一般会計補正予算 (全員賛成で可決)

・農業振興事業費補助金	298万円
・住宅改修費補助金	700万円
・地域特産物振興事業費交付金	15万円

キウイ「かいよう病」対策

問 農業振興事業費補助金の内容は。

答 本年度、キウイに「かいよう病」が発生して、3ヘクタールを全伐採するという被害が発生した。

問 この病気はニュージランドから輸入した花粉に由来しており、防ぎようがなかった。

答 この事業は住宅改修において10万円以上の工事に対する1割の補助で、上限が10万円の事業です。

問 住宅改修費補助金が700万円追加されるが26年度に消化できるのか。

答 この事業は住宅改修費補助金に付するもの。概ね80台を予定している。

問 地域特産物振興事業費交付金の対象品目とその内容は。

答 中山間地域を中心として、高齢化に伴い様々な果樹等からの転換などに対応できるように、あまり管理が要らない品目ということでハゼを推進している。ハゼはロウソク等の原料になるが、国内での供給が不足している事情もある。今回、県の事業でハゼの植栽について補助するもの。

